

令和元年度 行政評価表

担当課	伊奈町子育て支援センター
章名	第3章豊かな心を育むまちに暮らす
節名	第1節子ども・子育て支援の充実
施策名	4. 地域の子育て支援

施策の内容	目指す姿	多様な保育サービスの提供や子育て支援の充実により、安心して出産・子育てのできるまちになっています。
	現状と課題	安心して子供を産み育てられるよう、妊娠期や出産期、乳幼児期などにおける母子保健活動の充実を図る必要があります。全国的に家庭や地域の子育て力が低下し、育児に不安や悩みを抱く親が増加し、児童虐待などが問題になっています。また、共働き家庭の増加により保育所の入所希望者は増え、本町での保育所の園児はこの5年間で1.7倍になり、待機児童も増加傾向にあります。 子育て中の親たちを支援するため、本町では地域子育て支援センターや保育所を中心とした相談体制の整備を図るとともに多様化するニーズに対応した保育サービスの提供や、待機児童解消に向けた民間保育所の誘致などに取り組んできました。また、放課後児童クラブは需要が高まっており、一層の充実を図る必要があります。 国においては、子ども・子育て支援新制度が平成27年4月から始まりますが、本町でも新制度に沿った新たな子育て支援策を積極的に推進していく必要があります。

まちづくり目標値	指標名		現状(平成30年度)
	(1)		
	(2)		
	(3)		
	(4)		

成果指標の推移		平成27年度実績	平成28年度実績	平成29年度実績	平成30年度実績	令和元年度実績
	(1)					
	(2)					
	(3)					
	(4)					

行政評価表(事業評価一覧)合計	当初予算額	決算額 (単位:千円)				
		決算合計	国・県補助	地方債	その他特定財源	一般財源
	6,157	5,838	0	0	0	5,838

今年度の 施策達成度	A	A	施策が既に完了した。見直しや改善を行い最善に近い。（進捗率71～100％）
		B	施策の見直し、改善等の検討余地がある。（進捗率31～70％）
		C	施策を検討したが効果が上がらない。遅れている。未実施。（進捗率0～30％）
施策達成度 の理由 （施策に対する 今年度の実績 及び効果）		・親子教室と障害児通園施設の保護者を対象にした就学説明会と就学懇談会を開催し、就学支援につながった。 ・子育て支援センター内での相談や電話相談から、面接相談につながり、育児不安や進路について解消に向かうことができた。	

施策実現のための課題	施策を取り巻く環境の変化について	低年齢児を受入れる幼稚園が増加し、子育て支援センターの利用者が乳児中心となり、子育て相談が中心になっている。
	住民ニーズの変化について	イベント(講座や同年齢のお子さんが集まる年齢別遊び広場)のみ利用する保護者が増加している。
	展開した事業は適切であったか	イベント(講座や遊び広場)の内容を見直し、保護者の申込み状況から新しい講座を導入したところ、募集人数を上回るほど好評なものもあった。
	施策を達成するうえでの障害について	多岐にわたる事業を展開する上で、他機関と連携し事業達成に向けた整理・工夫が必要になる。

次年度以降における施策の具体的な方向性	講座の構成や内容の見直しを継続して行い、新しい講座を入れていくことで参加率の増加につなげ、様々な家庭とのつながりを持つ方向性を保つ。
---------------------	--

第6次行政改革大綱に基づく取組の進捗状況	ホームページを定期的に更新し、常に新しい情報を発信する。
----------------------	------------------------------